

## 2009年にF1日本グランプリを鈴鹿サーキットで再開

鈴鹿サーキット（三重県鈴鹿市 株式会社モビリティランド 社長：土橋 哲）はF1の開催権利を持つFOA（FORMULA ONE ADMINISTRATION LIMITED 代表：バーニー・エクレストン氏）と2009年シーズンから「FIA F1世界選手権 日本グランプリ」を隔年で開催することに合意致しました。

鈴鹿サーキットは1987年にF1を初開催以来20年にわたり開催を継続し、2006年決勝日には、過去最高の16万1千人のお客様をお迎えして20回大会を盛大に開催しました。

同年に2007年からの一時休止を発表しましたが、以来、鈴鹿サーキットでの観戦を楽しみにされているお客様ならびに再開へ向け多くのご尽力をいただく地元の皆様のご期待に応えるべく交渉を重ね、鈴鹿での再開が決定しました。

今後ともご満足いただける観戦環境を整え、世界最高のF1グランプリレースをファンの皆様にご覧いただけるよう努力してまいります。

\* 詳細な日程・チケット発売などにつきましては、あらためてご案内させていただきます。

### <FOA代表 バーニー・エクレストン氏コメント>

「この度、日本でのF1グランプリの持続発展のために、富士スピードウェイと鈴鹿サーキットで日本グランプリを交互に開催することに合意した。これを可能にした富士スピードウェイと鈴鹿サーキットに感謝したい。また20年にわたりF1と多くのファンを支えてきた鈴鹿サーキットでの再開を大変嬉しく思う。」

### <社長 土橋哲コメント>

「再び鈴鹿においてF1日本グランプリを開催できることを喜んでいる。鈴鹿での再開を応援していただいたファンの皆様にご報告でき嬉しく思う。2年後の開催に向けてこれまで以上に素晴らしいグランプリになるよう日々のイベントに磨きをかけていきたい。

そして三重県・鈴鹿市・桑名市・四日市市・亀山市・津市・菰野町など近隣行政を含む地元の方々の再開に向けたご支援・ご協力に感謝すると共に、今回の発表は日本でのF1の発展、ひいてはモータースポーツの振興に寄与できるものと確信している。

最後にこの決定をしたエクレストン氏と富士スピードウェイに感謝申し上げたい。」